

平成28年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成28年6月15日（水）

18時30分～20時

場 所：そうわ会館

出席者：間宮町長、井上副町長、夏苺教育長、川野企画財政課長、石井教育総務課長、橋本子育て健康課長、二見都市整備課長、小島都市計画担当参事、米山生活環境課長、石田地域振興課長、篠原防犯アドバイザー、宇田川企画財政課副課長

事務局：湯川町民課長、清水副課長、皆木副主幹、小笹主任主事

参加者数：50人

1 開会

町民課長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

4 テーマ別説明

(1) 後期基本計画 成長戦略について 各課長より説明

(2) 振り込め詐欺などについて 防犯アドバイザーより説明

【質疑・応答】

○ 農地の荒廃と自治会の過疎化について、役場北側では区画整理で人口を増やす施策があるが、相和地区は調整区域で人口はなかなか増えていかない。そのため、農地も条件が悪い所では山林化している。また、条件が良い所でも耕作せず、周りに迷惑かけないために年3回ぐらいの草刈で維持管理している。農地を維持できない人はかなりいるので、調査してもらい、農地の区画整理をしていただきたい。例えば、1区画を200坪で、50坪の農家住宅を造り、残りを農地として維持してもらおう条件にする。また、中学生以下の子どもがいる世帯が定住できるように道路や水道などを整備する。このままでは、自治会運営もできなくなるし、消滅する自治会も出てくるだろう。調整区域で難しいとは思いますが、モデル地区としてやってほしい。是非、相和地区に人口が定住できる制度を町も議会も検討してほしい。

→ 過去に農地の利用状況調査を実施したこともある。また、農業も夢のあることを言われることがある。国に行って、自民党の議員の話では、成功例しか言わない。農地の荒廃と人口減少が一つの解決策としては見出せないのではないか？農地の荒廃は、農業に魅力がないというのか、生産性が上が

らず、職として結びつかないということが言えるのではないか。人口減少は、出生率が下がったことがいえるのではないか。相和小学校より大井小学校の方が、児童数の減少率が非常に高い。調整区域だから市街化区域だからということではなく、日本全体が抱えている問題である。提案自体はよいものだが、法律もあり、なかなかできない。特区という制度を導入する必要があると思われる。しかし、相和地区全体を特区にすることは難しく、ある一部を指定することは可能ではないかと思われるが、町としては、慎重に対応させていただく。

5 閉会

井上副町長より閉会のあいさつ